

報道関係各位

映像表現の明日を担う若手クリエイターを支援する公募展「MEC Award 2013」

メック アワード

「MEC Award」受賞者決定！

映像表現における新しい才能を発掘し、映像制作を支援することを目的に、SKIPシティ 彩の国ビジュアルプラザ 映像ミュージアムが実施する公募展「MEC Award—Media Explorer Challenge Award—」。日本国内の35歳以下の若手映像作家やアーティストを対象に広く応募を呼びかけ、昨年の57作品を大きく上回る、応募総計123作品が集まりました。

第一線で活躍する審査員による厳選なる審査を通過し、本入選作品展へと進んだ5作品の中から、4月13日[土]に最終審査を行い、MEC Award 受賞作品を決定いたしました。

受賞作品を含む入選5作品は5月26日[日]まで、映像ミュージアム「MEC Award 2013入選作品展」にてご覧いただけます。是非、貴媒体にてご取材・ご掲載頂けますようお願い申し上げます。

MEC Award 受賞作品

副賞：彩の国ビジュアルプラザ内施設の100時間までの無償利用権
(利用出来る施設：HDスタジオ、映像ホール、編集室、MA室、レンタル機材、他)

受賞作品：「悲しみのためのテスト」

受賞者：橋本玲美 Remi Hashimoto

受賞コメント：

このような賞をただけて本当にうれしく思っています。賞をいただくのが初めてなのでごくうれしいです。(MEC Awardの副賞については)映画が好きなのでSKIPシティの機材を使わせていただいて、作品の内容だけでなく、音や映像の綺麗な作品を作りたいと思っています。ありがとうございます。

審査員講評：四方幸子 (キュレーター、東京造形大学特任教授／多摩美術大学客員教授)

ーとてつもない才能、可能性を感じる作品ー

2年目の「MEC Award」は昨年に増して応募数、クオリティともにとっても上がっていました。

受賞者の橋本さんは21歳という若さながら映像に対するアプローチが多様である点を評価しました。映像のインパクトと緊張感がある一方、作品を一步引いたところから見ている対比が素晴らしく、「とてつもない才能、可能性を感じる作品」として審査員全員一致で決定しました。また「悲しみのためのテスト」というタイトルも秀逸でした。

「MEC Award」は新しいアワードですので、新しい才能を発掘し、(公募展の)システムも応募者の皆さんやミュージアムのスタッフと一緒に作られていくアワードだと思っています。これからも成長していく「MEC Award」に期待しています。



「悲しみのためのテスト」橋本玲美



前列中央が橋本玲美さん

映像ミュージアム「MEC Award 2013 入選作品展」

会期：2013年4月13日[土]～5月26日[日]

会場：SKIPシティ 彩の国ビジュアルプラザ 映像ミュージアム

料金：大人(高校生以上)500円、小中学生250円 ※常設展もご覧になれます。休館日：月曜(祝日の場合は翌日)

主催：埼玉県 後援：埼玉県教育委員会／川口市／川口市教育委員会

公式HP：<http://www.skipcity.jp/mec2013/>

本入選作品展に関するお問い合わせ・取材：株式会社デジタルSKIPステーション 広報：今出(いまで)／埼玉県川口市上青木3-12-63
Tel：048-264-7777 Fax：048-264-7778 携帯：070-6523-8095 Eメール：imade@skipcity.com

※株式会社デジタルSKIPステーションは埼玉県からの委託により、SKIPシティ 彩の国ビジュアルプラザの管理・運営を行っています。